

検査案内 ～生理検査室からのお知らせ～

- 検査予約時間の15分前にはご来院ください。
- 検査開始時間の多少の前後はご了承ください。
- 検査予約時間に遅れる場合はご連絡ください。

平日：9：00～16：00（土日祝日、年末年始を除く）

TEL：022-259-1221（代表）

窓口：心電図室（内線1266）

心電図検査

標準12誘導心電図

(検査所要時間 約5分)

心臓の電氣的興奮・電気現象を見る検査で、心疾患のスクリーニング検査としても行われます。仰向けになり、両手首、足首と胸部に電極を装着し記録します。



！検査時の注意点！

- ストッキングは脱いでいただきます。
- 経皮貼付剤は一時的に外す場合があります。

マスター負荷心電図

(検査所要時間 約20分)

運動負荷試験の1つで虚血性心疾患および不整脈の診断と評価などを目的として行われます。所定の時間内に階段の昇降運動を実施し、負荷後に心電図を記録します。



！検査時の注意点！

- 経皮貼付剤は一時的に外す場合があります。

トレッドミル運動負荷心電図

(検査所要時間 約40～50分)

運動負荷試験の1つで虚血性心疾患および不整脈の診断と評価などを目的として行われます。回転するベルトコンベアの上を歩行運動しながら心電図を記録する検査です。



！検査時の注意点！

- 医師の立ち会いのもと行います。
- 経皮貼付剤は一時的に外す場合があります。

加算平均心電図（LP）

（検査所要時間 約20分）

通常の心電図では記録できない微小電位を検出し、重篤な心室性不整脈の発生因子の有無、埋め込み型除細動器(ICD)の適応があるかの評価を目的に行われる検査です。



！検査時の注意点！

- 経皮貼付剤は一時的に外す場合があります。

ホルタ心電図

(検査所要時間 約10分)

通常の心電図検査ではとらえにくい心電図の諸変化の把握を目的に行います。
胸部に貼った電極に、携帯型心電計を装着し、行動を記録しながら日常生活の心電図を一昼夜にわたり記録します。



！検査時の注意点！

- 入浴、シャワーおよび電気毛布、電気あんかの使用はできません。
- 原則として、翌日の朝に取り外しのため来院していただきます。
- 汗を大量にかくような激しい運動は避けてください。

～機器返却時のお願い～

- 返却日に診察がない場合、再来受付を通らずに心電図室へ直接お越しください。
- 返却日に診察・検査がある場合、再来受付後、最初に心電図室にお越しください。機器を装着したままでは他の検査はできません。

呼吸機能検査

肺機能検査 (VC,FVC)

(検査所要時間 約10分)

呼吸器疾患のスクリーニングや重症度の把握、治療効果の評価を目的とする検査です。肺活量や努力性肺活量などの換気機能に関するもので、術前検査としても行われます。



！検査時の注意点！

- 患者さんの理解および協力が必要な検査です。
- 検査直前の喫煙、飲食、運動は避けてください。

肺機能検査 (VC,FVC,DLco)

(検査所要時間 約25分)

肺の拡散能力の評価を目的とする検査です。肺血流の病態を反映するもので術前検査としても行われます。

精密肺機能検査

(検査所要時間 約60分)

肺機能検査に加え、肺胞機能として外界から体内への酸素の取り込み、炭酸ガスの排出など、ガス拡散能の検査を行います。



！検査時の注意点！

- 患者さんの理解および協力が必要な検査です。
- 検査直前の喫煙、飲食、運動は避けてください。

呼気NO検査

(検査所要時間 約10分)

呼気に含まれる一酸化窒素 (NO) の濃度を測定することで喘息の有無を診断する検査です。一酸化窒素 (NO) は喘息のときに特異的に上昇し、発作が起きると高くなり気道の炎症の程度・病状を反映することから、治療を強めたり、弱めたり調節するための指標となります。



！検査時の注意点！

- 検査直前の喫煙、飲食、運動は避けてください。

超音波検査

心臓超音波検査

(検査所要時間 約25分)

心臓の形態学的評価（弁膜症、心筋症の有無など）と心機能評価（心筋・弁の動き、血流動態など）を目的として行われます。胸部全体を露出させ、左側臥位または仰臥位にて該当部位にゼリーを塗りプローブを押し当てて検査を行います。



！検査時の注意点！

- 上半身の衣服は脱いでいただきますので着脱しやすい服装でお越しください。
- 経皮貼付剤は一時的に外す場合があります。

腹部超音波検査

(検査所要時間 約20分)

腹部臓器のスクリーニングとしての検査や形態の観察、腫瘍性病変などの検出、または経過観察を目的に行います。腹部全体を露出させ仰臥位にて腹部にゼリーを塗り、プローブを押し当てて検査を行います。

！検査時の注意点！

- 原則として、5時間以上の絶飲食を必要とします。(水、お茶の摂取は可能です。)
- 服薬は主治医の指示に従ってください。
- 下腹部(膀胱・子宮・卵巣・前立腺)の検査は膀胱充満時に行いますので、検査前に採尿しないでください。畜尿が不十分と思われる場合には水分摂取していただいた後、時間をおいて検査を施行する場合があります。
- 着脱しやすい服装でお越しください。

甲状腺超音波検査

(検査所要時間 約20分)

甲状腺の形態の観察や腫瘍性病変などの検出、また血流を観察することにより炎症の有無を知るための検査として行われます。検査は仰臥位にて行い、観察部位にゼリーを塗布しプローブを押し当てて行います。

！検査時の注意点！

- ネックレス等はあらかじめ外しておいてください。
- 首全体の露出が可能な服装でお願いします。

体表超音波検査

(検査所要時間 約20分)

体の表面に近い部分にある臓器や腫瘍性病変の有無、形状・性状を知るための検査として行われます。観察部位にゼリーを塗布しプローブを押し当てて行います。

！検査時の注意点！

- 検査部位が露出しやすい服装でお越しくください。

腎動脈超音波検査

(検査所要時間 約30分)

腎動脈の動脈硬化による狭窄や、血栓の有無を検出することを目的に行います。
また、腎内血管の血流評価をすることによって、腎実質障害の程度を把握することができます。
腹部全体を露出させ仰臥位にて腹部にゼリーを塗り、プローブを押し当てて検査を行います。

！検査時の注意点！

- 原則として、5時間以上の絶飲食を必要とします。(水、お茶の摂取は可能です。)
- 服薬は主治医の指示に従ってください。

頸動脈超音波検査

(検査所要時間 約30分)

動脈硬化の進展度を診断することを目的とします。
頸動脈の壁の厚さや、動脈硬化病変であるプラーク病変の有無の観察、血流の評価を行います。

！検査時の注意点！

- ネックレス等はあらかじめ外しておいてください。
- 首全体の露出が可能な服装でお願いします。

下肢静脈超音波検査

(検査所要時間 約30分)

下肢静脈の太さや形態・逆流の評価、また血栓像の有無・性状・存在範囲を知るための検査として行われます。両側鼠径部から足首付近までゼリーをつけ、随時プローブで圧迫しながら検査します。

！検査時の注意点！

- 下半身の衣類は下着のみになっていただきます。
- 包帯・経皮貼付剤は一時的に外す場合があります。

下肢動脈超音波検査

(検査所要時間 約30分)

下肢動脈内の狭窄病変および閉塞病変の有無の検索と病変部位の特定のために行われる検査です。また、末梢動脈疾患（PAD）の治療前の評価および治療後（ステント留置術等）のフォローアップ検査としても行われます。

！検査時の注意点！

- 下半身の衣類は下着のみになっていただきます。
- 包帯・経皮貼付剤は一時的に外す場合があります。

上肢動静脈超音波検査

(検査所要時間 約30分)

動・静脈の血管の太さ、動脈硬化の程度、血栓の有無、血流などを知るための検査として行われます。左右の血圧に差がある場合や透析シャント血管の血流障害に対して狭窄または閉塞部位の評価を行います。

！検査時の注意点！

- 検査部位が露出しやすい服装でお越してください。

神経生理検査

脳波検査

(検査所要時間 約90分)

脳神経系の機能障害の程度、局在性、その障害が将来どのように進展すると考えられるかなどの情報を提供するために行う検査です。また、てんかん発作波の分析、治療効果の判定にも用いられます。電極をペーストで頭部に装着し検査します。



！検査時の注意点！

- 検査前日は洗髪をし、当日は整髪料などを使用しないでください。
- ペーストにより頭髪が汚れることがあります。
- アクセサリー等はあらかじめ外しておいてください。
- 通常睡眠脳波を記録しますので、検査当日の昼寝は禁止です。
- 睡眠脳波を受けられる方で睡眠処置（ラボナ内服）が必要な方は、検査当日の車・バイク・自転車の運転はご遠慮ください。車・バイク・自転車等でご来院の場合、睡眠処置下においての検査は実施できません。

聴性脳幹反応（ABR）

（検査所要時間 約60～90分）

聴覚神経系の反応を記録する検査です。脳幹障害や意識障害の診断などに用いられます。
頭頂部および耳朶に電極を、耳にはヘッドホンを装着し、安静状態でクリック音を聞いていただきます。

！検査時の注意点！

- 検査時は出来るだけ頭皮を清潔にして来てください。
- ペーストにより頭髪が汚れることがあります。
- イヤリング・ピアス等はあらかじめ外しておいてください。

視覚誘発電位（VEP）

（検査所要時間 約45分）

視覚神経路の障害の有無や半盲検査の補助診断などに用いられます。
頭頂部および後頭部に電極を貼り付け、部屋を暗くした状態でモニタのチェック模様の中心を見つめていただきます。

！検査時の注意点！

- 検査時は出来るだけ頭皮を清潔にして来てください。
- ペーストにより頭髪が汚れることがあります。
- 視力低下などで眼鏡をお持ちの方は持参してください。

神経伝導検査 (NCS)

(検査所要時間 約60分)

電気刺激によって誘発される神経活動電位の振幅や潜時を測定する検査です。
末梢神経病変の種類や程度を把握することが出来ます。

手または足に表面電極を装着し、神経の最大活動電位が得られる強度の電気刺激を行います。



！検査時の注意点！

- 皮膚温の影響を受けるため手足を冷やさないようにして来てください。
- 検査時の多少の痛みを伴います。
- 検査部位が露出しやすい服装でお越しくください。

反復刺激検査

(検査所要時間 約30～60分)

神経筋伝達が障害される重症筋無力症とLambert-Eaton症候群等を調べるのに有用な検査で、末梢神経を連続刺激し、神経筋接合部の機能の評価を行います。

！検査時の注意点！

- 検査時の多少の痛みを伴います。
- 検査部位が露出しやすい服装でお越しください。

筋電図 (EMG)

(検査所要時間 約1～2時間)

随意収縮時もしくは安静時の筋膜内に電極針を刺入して筋繊維膜に生ずる電位を細胞外から記録する検査です。下位運動神経および筋肉疾患の診断、運動単位の障害を検出するために用いられます。

- 検査は医師が直接行います。

その他諸検査

血圧脈波ABI (PWV/CAVI) (検査所要時間 約10~15分)

四肢にカフを装着し、心電図、心音図を監視しながら四肢の血圧、脈波を計測します。
上肢と下肢の最高血圧の比を求め、閉塞性動脈硬化症 (ASO)のスクリーニングなどを行います。



！検査時の注意点！

- シャント形成側での血圧測定は不可です。
- リブレ装着時、装着側上腕は原則加圧不可ですので、外した状態で検査を行います。あらかじめ外してください。

24時間血圧計

(検査所要時間 約15～20分)

ホルタ心電図検査に加え、血圧の日内変動を測定する検査です。
小型の血圧計により、30分間隔で血圧を自動測定し、平均血圧値や血圧変動パターンの情報を得、
白衣高血圧が疑われる例および、治療抵抗性高血圧などの診断に用いられます。



！検査時の注意点！

- ホルタ心電図装着の場合は、入浴、シャワーおよび電気毛布、電気あんかの使用はできません。
- 原則として、翌日の朝に取り外しのため来院していただきます。
- 汗を大量にかくような激しい運動は避けてください。
- 血圧測定中はできるだけ腕を動かさないようにしてください。

～機器返却時のお願い～

- 返却日に診察がない場合、再来受付を通らずに心電図室へ直接お越しください。
- 返却日に診察・検査がある場合、再来受付後、最初に心電図室にお越しください。機器を装着したままでは他の検査はできません。

皮膚灌流圧（SPP）検査

（検査所要時間 約90分）

皮膚における毛細血管の定量的な評価を行い、末梢動脈疾患や微小循環変化を特定するために行う検査です。血管内狭窄および閉塞が原因の重症下肢虚血の重症度評価、下肢カテーテル治療・バイパス術後の経過観察、難治性潰瘍の治療予測、四肢切断レベルの判定に用いられます。

R-R変動検査

（検査所要時間 約10分）

糖尿病や血管障害に伴う自律神経機能の障害を評価する目的として行う検査です。四肢に心電図電極を取り付け、安静時の心電図を100拍記録して、R-R間隔の変動を求めます。

！検査時の注意点！

- 下肢で心電図を記録する場合はストッキングなどを脱いでいただきます。

眼底検査

(検査所要時間 約7分)

瞳孔の奥にある眼底を、レンズを通して観察し、眼底の血管、網膜、視神経を調べる検査です。網膜剥離や眼底出血、緑内障などの眼病評価の際に行います。額当てと顎受けに顔を固定し、レンズ奥の緑のランプを見つめていただきます。



！検査時の注意点！

- コンタクトレンズを装着したままでも検査は可能ですが、当日はメガネで来院されることをお勧めします。

睡眠時無呼吸症候群検査

終夜睡眠ポリグラフ検査（PSG）

（検査所要時間 一晚）

脳波、眼電図、頤筋筋電図、心電図、経皮的動脈血酸素飽和濃度（SPO₂）、呼吸運動などの多種の生体現象を同時に記録し、総合的に評価します。

各睡眠stageの割合、無呼吸低呼吸指数（AHI）、睡眠時周期性四肢運動（PLMS）などを算出して、種々の診断基準に用いられます。

！検査時の注意点！

- 検査前日は洗髪をし、当日は整髪料などを使用しないでください。
- 検査当日の昼寝、過度の運動および飲酒は禁止です。
- 検査前数時間のカフェイン含有飲料および入浴は制限し、検査前の水分摂取は控えてください。
- 睡眠薬・精神安定剤は少なくとも2週間の休薬時間が必要とされます。
- ペーストにより頭髪が汚れることがあります。
- アクセサリー等はあらかじめ外しておいてください。
- マニキュア及びジェルネイル等の爪の装飾物は検査不可となる可能性があるため、事前に落としてお越しくください。

スリープテスト

(検査所要時間 約20分)

SPO₂に加え、鼻カヌーを用いた圧力による呼吸の検出、胸および腹バンドを用いた呼吸による胸郭や腹部の運動を記録します。睡眠時の呼吸状態をSPO₂、胸・腹部運動、気流、いびきなどから総合的に評価します。



！ 検査時の注意点！

- 着衣の上からベルトをつけるため、着たまま眠ってもいい服（Tシャツ・肌着・パジャマ等）を着るか、準備をしてお越してください。
- 機械は目立つので、隠すための上着をご準備ください。
- 装着後の食事、トイレは可能です。
- 入浴およびシャワーの使用はできません。センサをつけた指は濡らせません。
- 呼吸管理をしている場合は検査不可となる可能性がありますのでご了承ください。
- 検査当日の昼寝は禁止です。
- マニキュアおよびジェルネイル等の爪の装飾物は検査不可となる可能性があるため、事前に落としてください。
- 検査機器が少ないため、必ず翌日に返却していただきます。

ウォッチパット

(検査所要時間 約15分)

指先にプローブをつけ、体位センサを胸元に置き、腕時計のような機械をつけて記録を行います。末梢の血流量を連続的に測定することで、睡眠／覚醒や無呼吸低呼吸などの睡眠呼吸障害を総合的に評価します。



！ 検査時の注意点！

- マニキュアおよびジェルネイル等の爪の装飾物は検査不可となる可能性があるため、事前に落としてください。
- 検査機器が少ないため、必ず翌日に返却していただきます。